

株主優待のご案内

3月31日、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様に対し、それぞれ、以下の基準により、カラオケ店舗でご利用頂けるレストランカラオケ優待券を贈呈いたします。

贈呈基準	1株以上5株未満→ ルーム料金1,050円(税込)割引券15枚 5株以上 → ルーム料金1,050円(税込)割引券45枚
利用方法	全国のレストランカラオケシダックスにて、ルーム料金の支払いとして、現金との併用又は、優待券のみでご利用いただけます。なお、5名様以下のご利用時は2枚まで、6名様以上のご利用時は利用枚数に制限はありません。 ウィークデイパック、ウィークエンドパック等のご選択の場合、会計総額(税込)の5%を割引とさせていただきます。(1組様1枚限り)
有効期限	3月31日現在株主様への優待券 →発行された翌年の6月30日まで 9月30日現在株主様への優待券 →発行された翌年の12月31日まで

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先)	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 証券代行事務センター フリーダイヤル 0120-78-2031
各種手続き用紙のご請求先	フリーダイヤル 0120-87-2031
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。 URL http://www.shidax.co.jp/ir/koukoku ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行される日本経済新聞に掲載して行います。

シダックス株式会社

MOTHER FOOD
SHIDAX

MOTHER FOOD
SHIDAX

第7期決算のご報告

BUSINESS REPORT

平成19年4月1日～平成20年3月31日



Contents: 目次

株主の皆様へ	1
連結決算のポイント	2
連結データハイライト	3
部門別の報告	4
クローズアップ	6
トピックス	8
連結財務諸表	10
個別財務諸表	12
会社情報	13



代表取締役社長

志太 勤一

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成19年4月1日から平成20年3月31日に至る当社グループの第7期の決算のご報告をするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループは、マザーフードの概念をベースに、日々変化し多様化する消費者のニーズに対応するため研究開発体制の充実や、アウトソーシングサービスにおいてシェア拡大を図りブランド力の拡大・強化を行っております。質の高いお食事を提供することによる健康創造サービスや自家用自動車管理や施設運営・管理等の水平・垂直統合型グループ構造のもと「食」を中心とした総合サービスの提供拡大に努めてまいりました。

当連結会計年度におきましては、子会社株式評価損をのれん償却額として特別損失に計上いたしましたが、当社の配当に対する基本方針である「安定配当」の観点から、平成20年3月期の1株当たり年間配当金は1,500円とさせていただきます。

今後は、総合サービスのさらなる追及のため、「食」を中心とした幅広いサービスでより一層お客様満足度向上に努め「総合サービス企業グループ」としてより強固な体制を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

連結決算のポイント

■決算のポイント

当社グループは、事業優位である水平・垂直統合型グループ構造のもと「食」を中心とした総合サービスの提供拡大に取り組みました。さらに、車両運行管理から社会サービスなどさまざまな業務の受託拡大を図り、「総合サービス企業グループ」の体制構築に努めてきました。

売上高はスペシャリティーレストラン事業において、海外現地法人であるPatina Restaurant Group, LLC等および大新東株式会社を中心としたトータルアウトソーシング事業が通期で寄与したことで大幅な増収となりました。これにより売上高は過去最高となりました。また、営業利益および経常利益は、主にフードサービス事業における販売管理費の適正化や食材調達効率化など、内部構造の強化が順調に進捗したことにより、営業利益も過去最高を更新しました。

■特別損失および配当について

当社の連結子会社である大新東株式会社について、当社保有の同社株式の株価が当社決算日である平成20年3月31日において著しく下落していることから、当社個別決算において減損処理による子会社株式評価損13,795百万円を特別損失に計上しました。それにとまない、当社連結決算においてものれん償却額として13,889百万円を特別損失に計上しました。

当社では、財務体質と経営基盤の強化を図る一方、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題の一つとしています。

財政面においては、財務内容の安定と有利子負債の圧縮を目的として、公募による普通株式40,000株および第三者割当による普通株式4,617株の新株発行増資を行い3,702百万円の資金を調達しました。この増資による資金は全額を借入金の返済に充当しました。

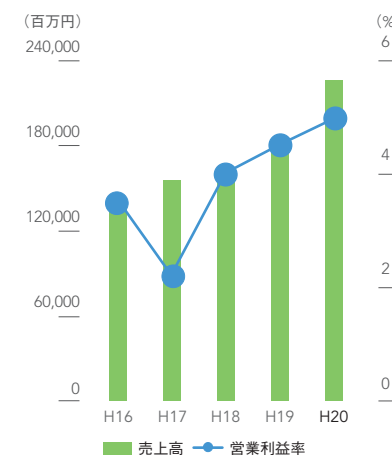
以上の結果、当連結会計年度の売上高は226,072百万円（前年同期比29.1%増）、営業利益は11,209百万円（前年同期比41.7%増）、経常利益は10,667百万円（前年同期比34.4%増）となりました。当期純損失につきましては連結決算において連結子会社である大新東株式会社の株式時価下落にともなうのれん償却額として13,889百万円を特別損失を計上したことにより10,039百万円となりました。

配当については、企業体質の充実ならびに競争力を維持、強化するための内部留保に努めるとともに、収益に応じた配当を行うことを基本方針としています。当期においては、個別決算で当期純損失を計上していますが、当社グループの事業は堅調に推移しており今後も継続して安定的な収益を見込んでいます。

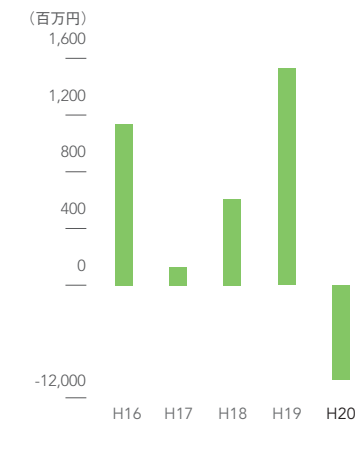
以上の考え方を踏まえ、当期につきましては株主様への安定配当を目的として、平成20年3月期の1株当たり年間配当金を1,500円とさせていただきます。

連結データハイライト

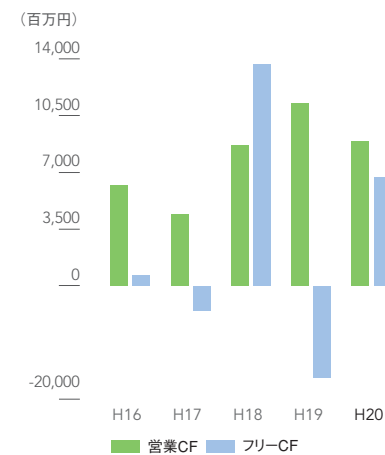
■売上高／営業利益率



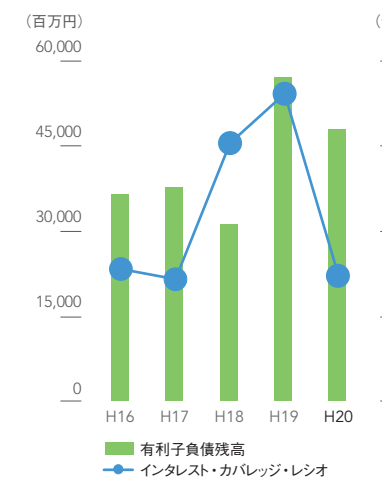
■当期純利益



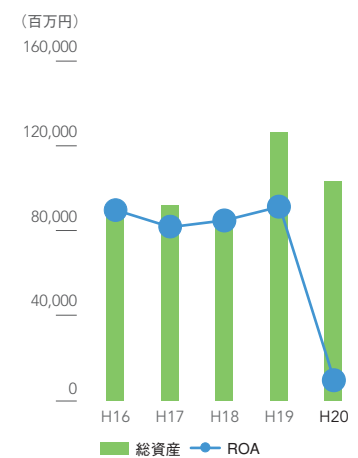
■営業CF／フリーCF



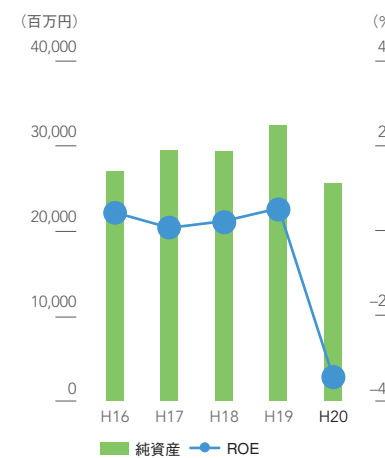
■有利子負債残高／インタレスト・カバレッジ・レシオ



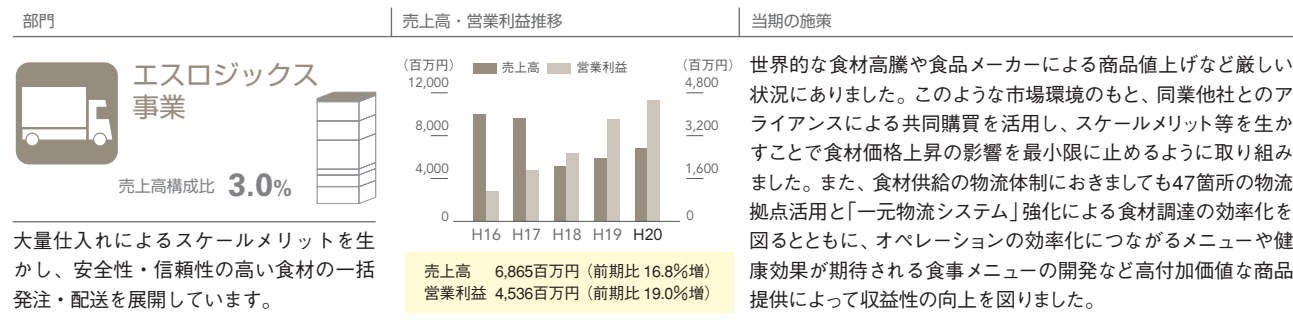
■総資産／ROA



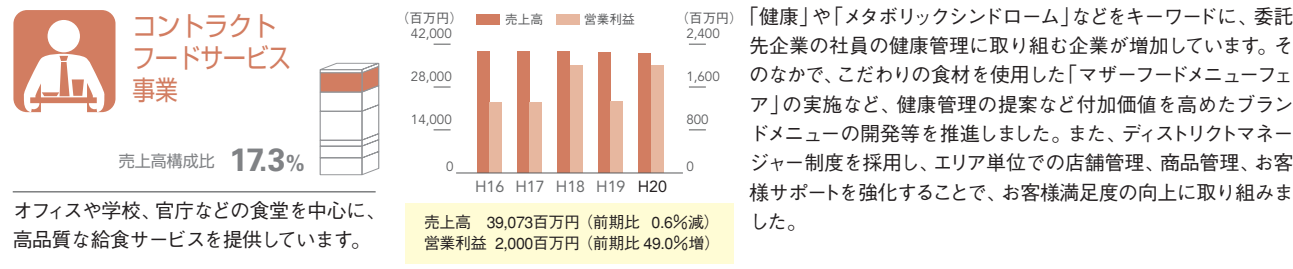
■純資産／ROE



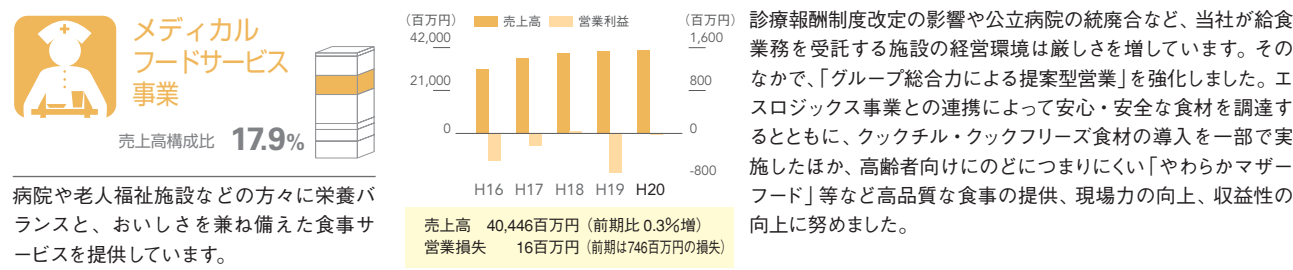
部門別の報告



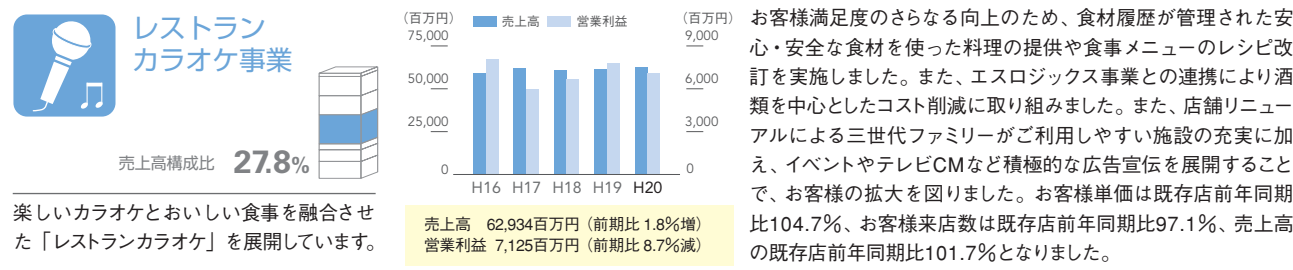
大量仕入れによるスケールメリットを生かし、安全性・信頼性の高い食材の一括発注・配送を展開しています。



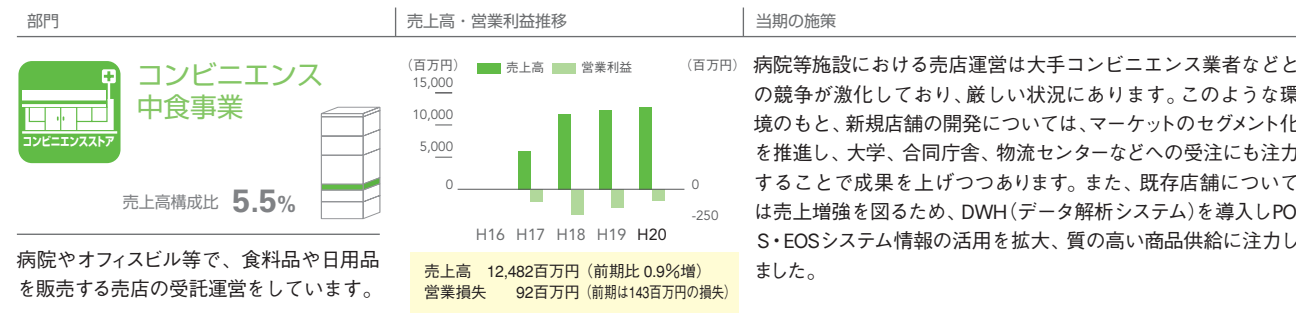
オフィスや学校、官庁などの食堂を中心に、高品質な給食サービスを提供しています。



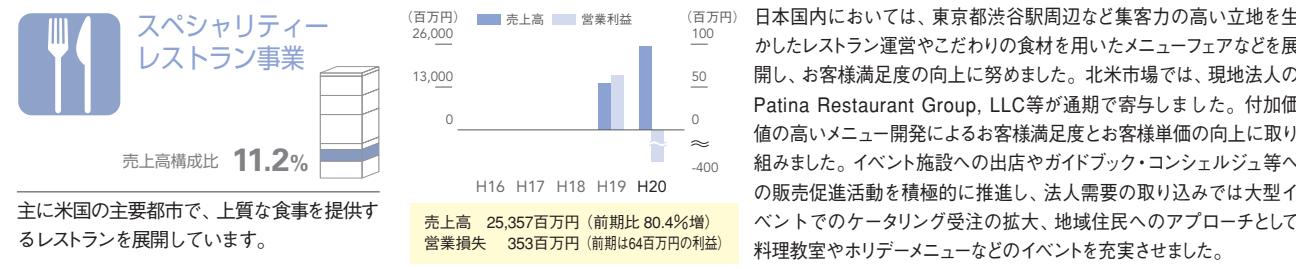
病院や老人福祉施設などの方々には栄養バランスと、おいしさを兼ね備えた食事サービスを提供しています。



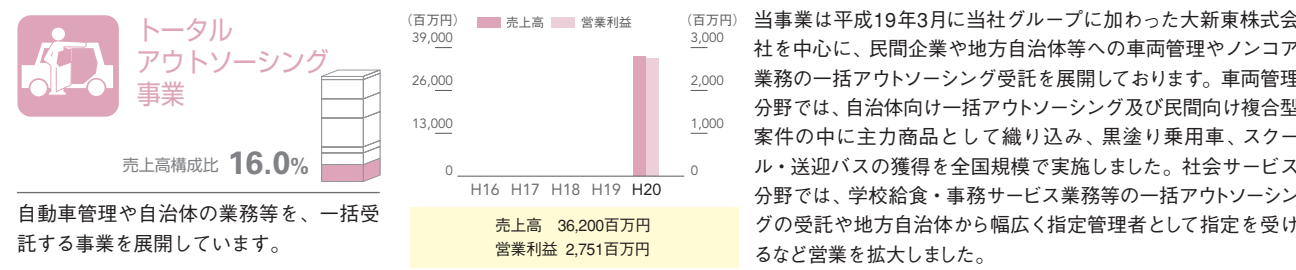
楽しいカラオケとおいしい食事を融合させた「レストランカラオケ」を展開しています。



病院やオフィスビル等で、食料品や日用品を販売する売店の受託運営をしています。



主に米国の主要都市で、上質な食事を提供するレストランを展開しています。



自動車管理や自治体の業務等を、一括受託する事業を展開しています。

関連子会社	
エスロジックス事業	エス・ロジックス株式会社、シダックスエンジニアリング株式会社
コントラクトフードサービス事業	シダックスフードサービス株式会社、シダックスフードサービス北海道株式会社、国内フードサービス株式会社
メディカルフードサービス事業	シダックスデリカクリエイティブ株式会社、エス・ミール株式会社
レストランカラオケ事業	シダックス・コミュニティー株式会社
コンビニエンス中食事業	シダックスアイ株式会社
スペシャリティーレストラン事業	シダックスレストランマネジメント株式会社、ヴァスフードサービス株式会社、Patina Restaurant Group, LLC 他
トータルアウトソーシング事業	大新東株式会社、大新東ヒューマンサービス株式会社

クローズアップ

“マザーフード” シダックスは 売上高および営業利益が 過去最高を更新

シダックスグループは、“マザーフード”（母なる地球が育んだ豊かな大地と海の恵みを、全てのお客様に母親のように真心を込めてお届けする）を基本理念とし、水平・垂直統合型事業展開により「食」を中心とした総合サービスの提供拡大に努めています。

2003年3月にシダックスレストランマネジメント株式会社の株式を取得（現・連結子会社）したことにより外食レストラン事業へ本格的に進出し、2006年6月に新和風創作料理などを展開する株式会社小林事務所から全事業を譲受け、同じく2006年6月には米国において高級レストランを展開し高いブランド力を誇るPatina Restaurant Group, LLC等を子会社化しました。そして2006年9月にトランスフィールド株式会社よりスイーツ事業を譲受け、同年9月に事業所給食事業を行っている国内フードサービス株式会社の全株式を取得（現・連結子会社）し、2007年3月には、自家用自動車管理事業を日本で初めて事業化したアウトソーシングビジネスの草分けであります大新東株式会社の株式を取得（現・連結子会社）するなど、積極的なM&Aを行い「場」の拡大（事業の水平展開）を図りました。

また、2002年からスタートしましたエスロジックス事業では、集団給食向け食材を一元化することでスケールメリットを生かした食材調達を可能とするとともに、全国47箇所物流拠点を活用す

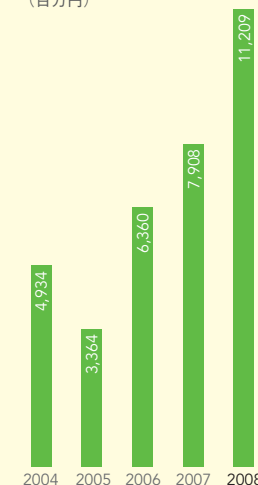
ることできめ細やかな配送を行っています。

2007年2月には一元物流システムの強化によりレストランカラオケ事業向けの酒類供給を構築し、2008年4月からはソフトドリンク類にも導入しています。また、シダックス総合研究所とエスロジックスメニュー開発チームによる食事メニューを活用した健康管理の提案や、店舗、事業所でのお客様の特性を分析しセグメント化することによるメニューの標準化に努めています。その結果、食材調達がより効率的になり、各事業所におけるオペレーション業務が円滑化し、健康効果が期待される食事メニューの開発にもつながりました。これら「競争力」と「高付加価値」を実現する垂直統合によって収益性が向上しました。

これら「場」の拡大（事業の水平展開）や、垂直統合による収益構造の強化により、売上高226,072百万円、営業利益11,209百万円を達成しました。

今後も、シダックスグループは人材、食材、ノウハウ、情報の最大限での活用が可能な水平・垂直統合型グループ構造を強化することで「総合サービス企業グループ」の体制構築に努めます。

営業利益の推移
(百万円)



2003 売上高
122,563百万円

4月 シダックスレストランマネジメント株式会社（旧株式会社レストランモンテローザ）の株式を取得（現・連結子会社）



水平展開

2003
垂直統合

エスロジックス事業による集団給食向け食材の一元化

10月 シダックスデリカクリエイティブ株式会社（旧オムロンデリカクリエイティブ株式会社）によるセントラルキッチン活用のノウハウを取得

2004 売上高
140,909百万円

12月 シダックスアイ株式会社（旧シダックスシーアンドバイ株式会社）と資本・業務提携（現・連結子会社）



2004

エスロジックス事業による消耗品等の一元化

2005 売上高
155,264百万円

エスロジックス事業による全国41箇所（現在47箇所）の物流網の完成

2006 売上高
157,950百万円

6月 Patina Restaurant Group, LLC等（旧 RA Patina, LLC等）を子会社化



2006

6月 株式会社小林事務所の全事業譲受け

9月 トランスフィールド株式会社のスイーツ事業を譲受け



エスロジックス事業の物流網を活用した標準メニューの導入推進

10月 国内フードサービス株式会社の全株式を取得（現・連結子会社）

2007 売上高
175,150百万円

3月 大新東株式会社の株式を取得（現・連結子会社）



2007

2月 エスロジックス事業によるレストランカラオケ事業への酒類供給体制強化

2008
売上高
226,072
百万円

営業利益
11,209
百万円

トピックス

アレルギー食提供安全委員会を設置

シダックスグループでは、全国約3,200の店舗・施設で1日約60万食におよぶ「食」を提供しており、「品質管理」をお客様の生命と安全を守る上で最重要事項として位置づけています。そのなかで、食物アレルギーのお客様にもより一層安心して美味しい食事を楽しんでもらうため、社外の専門家の先生を委員に迎えた「アレルギー食提供安全委員会」を設置しました。

現在は、保育園、幼稚園向けに小冊子「アレルギー食の手引き」を作成し配布しているほか、全国レストランカラオケ302店舗にて、5大アレルギーと言われている、そば、小麦、乳製品、卵、落花生由来の原料を使用していないお子様向け「低アレルギー」メニューの提供を開始しました。今後も、シダックスグループでは「安心・安全」、そして楽しい「食」を通じてお客様の健康創造に寄与するさまざまな活動を推進していきます。

高齢者向け「やわらかマザーフード」を開発

シダックス総合研究所では食に関するさまざまな研究・開発に取り組んでいます。そのなかで「安心・安全」でおいしい「食」の提供を可能にしたいとの想いから食べやすい「やわらかマザーフード」を開発しました。

老化や疾患の影響により「食べる機能」が低下している高齢者でも、歯で噛み切りやすく、舌でつぶせる硬さであり、口の中でまとまりやすいうえ喉越しの良いといった特長があり、高齢者の食べる意欲を引き出すことで「楽しい食生活」をサポートしています。

今後もシダックスグループは社会問題解決型企業として介護負担を軽減するための取り組みをより一層推進します。

お子様向け

低アレルギーメニュー

5大アレルギー(そば、小麦、乳製品、卵、落花生由来原料)を使用しておりません。

わくわくランチ(おもちゃつき)



for Kids

・キッチン内の通常の調理機器・器具を使用しております。
・店内で洗浄した食器を使用しております。
・アレルギー症状に敏感な方はご注意ください。

高齢者向け

「やわらかもっちり娘」メニュー

「やわらかもっちり娘」は、素材の風味を活かしつつ、噛み切りやすく、楽しんでお召し上がりいただけるように開発した餅です。



「お雑煮」



「みたらし団子」

for Senior

ケータイ会員様向けサービスを強化

レストランカラオケ事業におきまして、2005年7月からケータイ会員を、また、2006年7月からは新カード会員制度をスタートしました。両会員制度における加入者様は240万人を超え、会員様料金でのサービスのご提供やポイントの加算、バースデーご優待サービスや人気テーマパークのペアパスポートとの交換など、さまざまな特典をご用意しサービスの充実に取り組んでいます。また、2007年12月に開催したシダックス・コミュニティー株式会社協賛、人気アーティスト絢香さんライブイベント「SHiDAX presents ayaka premium live 〜もっと笑顔が咲きますように〜」開催にともない、シダックスのケータイ会員様への還元キャンペーンとしまして、ご応募いただいた会員様の中から抽選で1,000組2,000名様を無料でご招待しました。今後もレストランカラオケシダックスは会員様へのサービスの拡充や、さまざまなキャンペーンを通じてお客様の満足度向上に努めていきます。



LIVE EVENT

さまざまな会員様特典をご用意

絢香さんライブイベント

「SHiDAX presents
ayaka premium live
〜もっと笑顔が咲きますように〜」

for Everyone



連結財務諸表

■連結貸借対照表	単位：百万円		単位：百万円	
	当期 平成20年3月期	前期 平成19年3月期	当期 平成20年3月期	前期 平成19年3月期
(資産の部)			(負債の部)	
流動資産	36,233	39,188	流動負債	39,109
現金及び預金	14,649	16,760	支払手形及び買掛金	9,340
受取手形及び売掛金	13,985	14,065	短期借入金	370
たな卸資産	2,222	2,133	一年内返済予定の長期借入金	10,790
繰延税金資産	2,785	2,845	一年内償還予定の社債	525
その他	2,727	3,502	未払金	4,269
貸倒引当金	△136	△119	未払費用	6,415
固定資産	67,198	86,832	未払法人税等	2,279
<有形固定資産>	32,081	36,504	ポイント引当金	476
建物及び構築物	26,932	30,201	役員賞与引当金	63
土地	2,346	3,421	賞与引当金	2,607
その他	2,802	2,881	その他	1,970
<無形固定資産>	7,997	21,654	固定負債	38,709
のれん	6,485	20,195	社債	1,400
その他	1,511	1,459	長期借入金	34,756
<投資その他の資産>	27,120	28,672	退職給付引当金	—
敷金及び保証金	11,787	11,550	役員退職慰労引当金	569
繰延税金資産	8,013	10,040	訴訟損失引当金	136
その他	9,528	9,956	繰延税金負債	103
貸倒引当金	△2,209	△2,874	その他	1,742
資産合計	103,432	126,020	負債合計	77,818
			(純資産の部)	
			株主資本	
			資本金	10,781
			資本剰余金	9,963
			利益剰余金	2,778
			自己株式	△350
			株主資本合計	23,172
			評価・換算差額等	
			その他有価証券評価差額金	88
			為替換算調整勘定	48
			評価・換算差額等合計	136
			少数株主持分	2,303
			純資産合計	25,613
			負債純資産合計	103,432

■連結損益計算書	単位：百万円	
	当期 平成20年3月期	前期 平成19年3月期
売上高	226,072	175,150
売上原価	192,234	151,056
売上総利益	33,838	24,094
販売費及び一般管理費	22,629	16,185
営業利益	11,209	7,908
営業外収益	985	895
営業外費用	1,526	864
経常利益	10,667	7,939
特別利益	363	185
特別損失	15,565	3,340
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△4,535	4,783
法人税、住民税及び事業税	3,909	3,825
法人税等調整額	671	△491
少数株主利益又は少数株主損失(△)	922	△77
当期純利益又は当期純損失(△)	△10,039	1,527

■連結株主資本等変動計算書	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	8,930	8,111	13,347	△349	30,039	154	179	334	1,963	32,337
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	1,851	1,851			3,702					3,702
剰余金の配当			△528		△528					△528
当期純損失			△10,039		△10,039					△10,039
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						△66	△131	△197	339	142
連結会計年度中の変動額合計	1,851	1,851	△10,568	△0	△6,867	△66	△131	△197	339	△6,724
平成20年3月31日残高	10,781	9,963	2,778	△350	23,172	88	48	136	2,303	25,613

■連結キャッシュ・フロー計算書	単位：百万円	
	当期 平成20年3月期	前期 平成19年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,910	11,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,279	△27,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,433	12,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	15
現金及び現金同等物の減少額	△1,862	△3,153
現金及び現金同等物の期首残高	16,049	19,203
現金及び現金同等物の期末残高	14,186	16,049

個別財務諸表

	単位：百万円	
	当期 平成20年3月期	前期 平成19年3月期
(資産の部)		
流動資産	25,430	26,614
固定資産	36,164	57,341
有形固定資産	1,599	1,693
無形固定資産	1,057	1,019
投資その他の資産	33,508	54,628
資産合計	61,595	83,956
(負債の部)		
流動負債	11,057	17,049
固定負債	26,052	29,355
負債合計	37,110	46,405
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	10,781	8,930
資本剰余金	17,280	15,429
利益剰余金	△3,227	13,537
自己株式	△350	△349
株主資本合計	24,484	37,547
評価・換算差額等	0	3
純資産合計	24,485	37,550
負債純資産合計	61,595	83,956

損益計算書

	単位：百万円	
	当期 平成20年3月期	前期 平成19年3月期
営業収入	7,829	7,320
役務提供等収入	4,566	4,156
不動産賃貸収入	621	636
配当収入	2,641	2,527
営業費用	5,314	4,386
不動産賃貸原価	574	580
販売費及び一般管理費	4,739	3,805
営業利益	2,515	2,934
営業外収益	608	579
営業外費用	811	555
経常利益	2,312	2,958
特別利益	—	55
特別損失	19,481	748
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△17,169	2,265
法人税、住民税及び事業税	219	490
法人税等調整額	△1,153	22
当期純利益又は当期純損失(△)	△16,235	1,752

株主資本等変動計算書

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	繰越利益剰余金	利益剰余金 合計						
平成19年3月31日残高	8,930	15,178	250	15,429	13,537	13,537	△349	37,547	3	3	37,550	
事業年度中の変動額												
新株の発行	1,851	1,851		1,851				3,702			3,702	
剰余金の配当					△528	△528		△528			△528	
当期純損失					△16,235	△16,235		△16,235			△16,235	
自己株式の取得							△0	△0			△0	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									△2	△2	△2	
事業年度中の変動額合計	1,851	1,851	—	1,851	△16,764	△16,764	△0	△13,062	△2	△2	△13,065	
平成20年3月31日残高	10,781	17,029	250	17,280	△3,227	△3,227	△350	24,484	0	0	24,485	

会社情報

会社の概要 (平成20年3月31日現在)

商号	シダックス株式会社
英文商号	SHiDAX CORPORATION
設立年月日	平成13年4月2日
資本金	10,781百万円
従業員数	12,645名
本店所在地	〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3
本社事務所	〒150-0041 東京都渋谷区神南一丁目12番13号 渋谷シダックスビル3F

役員 (平成20年3月31日現在)

代表取締役会長	志太 勤	監査役(常勤)	重泉良徳
代表取締役社長	志太勤一	監査役(常勤)	吉井邦夫
専務取締役	遠山秀徳	監査役	鈴木興一
常務取締役	小柴宏美	監査役	山本 征
取締役	大津 宏		
取締役	大原登志		
取締役	フォルトウナート・ ニック・バレンティ		
取締役	山成健史郎		
取締役	藤田一郎		

注) 監査役重泉良徳及び監査役山本征の両氏は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成20年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	1,400,000株
発行済株式の総数	401,831.62株
株主数	31,509名

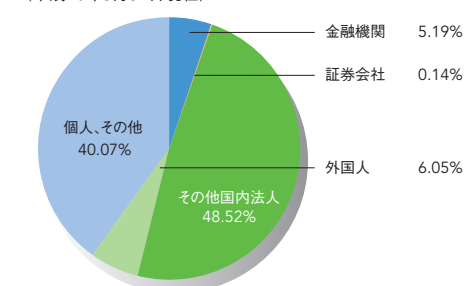
大株主(上位10位)

株主名	所有株数(株)	出資比率(%)
志太ホールディングス株式会社	121,764.74	30.30
株式会社志太起業研究所	35,403.26	8.81
株式会社シダ・セーフティ・サービス	33,778.00	8.40
志太 勤一	20,833.56	5.18
志太 勤	18,719.32	4.65
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505019	8,378.00	2.08
志太 正次郎	6,049.26	1.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,294.00	1.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,199.00	1.04
志太 富路	3,809.84	0.94

(注) 上記以外に、当社は自己株式4,570.91株(1.13%)を保有しております。

所有者別株式分布

(平成20年3月31日現在)



所有株数別株式分布

(平成20年3月31日現在)

